

昨日くらいから、急にセミの声が賑やかになりました。先週末には、幼稚園のお泊まり保育が行われ、今日はCSの夏期学校が60名を超える大人と子供で開催されます。来週はいよいよバイブルキャンプ、この季節の高波に、心も高まっています！

時代の流れを読み

トランプ前大統領の暗殺未遂事件や、コロナ感染のニュースには、思わず身構えてしまいます。戦争も長引き、異常気象は続き、世も末だと嘆きたくなります。

イエス様も、世の終わりに、神殿の破壊、戦争や暴動、偽りの救世主の登場、飢饉や疫病、異常気象が起きることを予言されました。そして、信仰による迫害、国家の弾圧、家族や友人の裏切り、殺されるものまでいると予言されています。

私たちは、暗いニュースをただ眺めてはいけません。聖書の警告を真剣に受け止め、主に信頼する者となりましょう。イエス様の警告は、ある意味で避難訓練のサイレンのようなものです。真面目に聞かなかつたり、他のことを考えて忘れていたりしていると、取り返しのつかないことになってしまいます。しかし、最後まで主に信頼していれば、いざという時には自らの魂を救うことができるのです。

イエス様は、世の終わりは必ず来ると言われましたが、興味深いことに、すぐには来ないとも言われました。(9節) 十話完結のテレビドラマに例えれば、さしずめ第六話目あたりが、私たちの時代だ、ということでしょう。前半の山場を過ぎ、ドラマ全体の結末に向かう場面展開です。しかし、6話目には、まだ大きな出来事はなく、その鍵がところどころに示されているだけなのです。

私たちは、この時代を本当の意味で理解しているでしょうか。案外、昔は良かったと嘆きただけだったり、景気の良い話だけに気を取られたりしていることがあるのではないのでしょうか。神様の愛という流れの中で「今まで」と「これから」を思い巡らすと、「今」が明るく照らされます。それは、世界の始まりから終わりまでを語る聖書のストーリーに、今の時代がどのようにつながるかを、知る豊かな恵みです。

自分の座標軸を知れ

同時に私たちは、自分の人生を本当の意味で理解しているでしょうか。案外、過去を引きずっているだけだったり、現実を見たくないために先のことを夢見たりしていることがあるのではないのでしょうか。私たちの存在は、この世界と繋がっています。

神様の愛に信頼する時、「今まで」と「これから」を思い巡らす「今」が明るく照らされます。それは、聖書のストーリーに、自分のヒストリーがどのように繋がるかを、知る壮大な恵みなのです。自分の座標軸を静かに見つめることができると、心に平安が生まれます。主への信頼は、魂を救う約束の鍵なのです。